

SSKP

# はれのちくもり

第82号

ピアス通信別冊第10号

はれのちくもり別冊ピアス通信では、ピアスを中心に、訓練やイベントなどの様子を皆様に発信していきたいと思っております

## 平成28年度 半期理事会・評議員会の報告

(11月13日および19日開催)

今年も例年通り11月に半期の理事会・評議員会を開催しました。とはいっても、今回は定例の議案に加え、**任期満了に伴う役員改選**が行われました。また、多摩棕櫚亭協会も含めた社会福祉法人のことを定めている「**社会福祉法**」が**大きく改正された**ことから、その対応として定款の一部を変更する議案等も提出・承認されました。

まず、前期の収入が安定していることをふまえ、後期の予算については本部ビル内の照明・排水関係など急を要する修繕や、法人30周年記念関係に計上する事になりました。次に役員改選についてですが、理事・評議員ともに1名交代となりました。特に理事については天野理事長より退任の意向を受け、法人職員の**荒木浩**が新しく**理事に選任**されました。さらに後日開かれた理事会で**小林由美子**が**理事長に**、**高橋しのぶ**が**常務理事に就任**しました。次ページに新理事長となった小林由美子のあいさつが載っていますのでどうぞお読みください。



盛りだくさんの理事会・評議員会で時間も若干延びてしまいましたが、終了後は同じ場所にて、退任した天野理事長をねぎらう食事会が開かれました。長らく組織づくりを共にされてきた石川先生を始めとする各役員からの言葉と美味しい料理、花束で天野理事長をねぎらうことが出来たように思います。次世代として継承していく私達からも、少しでも心からのプレゼントをさせていただきました。

法人本部 常務理事 高橋 しのぶ

## 小林由美子新理事長にインタビューしました！

**Q. 理事長に選出されての感想を教えてください。**

**A.** 気持ちが引き締まる思いで、頑張らなくてはならないと思っています。

棕櫚亭は、創設されてから今年で30年になりますが、30年続いたのは、新しいことに挑戦しつづけて来たからだと思っています。これからも、この伝統を引き継いで行きたいと思います。



**Q. 福祉の仕事につかれた動機と、棕櫚亭に入られたきっかけを教えてくださいませんか？**

**A.** 高校時代、進路に悩んでいた際に、学校を休んで読んだ、犬養道子さんの「人間の大地」という本があり、その中に登場する困っている人を助けてあげたい、と思ったのが福祉の仕事についての動機です。以前は精神科病院で働いており、デイケアを担当していました。その中で、働きたいと思われている方が多く、就労プログラムを作りました。その時に講師として来ていた、前理事長の天野さんに初めてお会いしました。そして、その後、棕櫚亭がピアスを作る事になり、「働きたい」方の支援がしたくて、棕櫚亭で働き始めました。

**Q. 今まで障害者の支援をされてきた中で、一番思い出に残っているエピソードを教えてくださいませんか？**

**A.** 病院で働いている時に、ある男性の患者さんの担当をしていました。その方は、地方でも有名な家の息子さんで、障害があることを周囲に知られたくないと思ったご両親が入院させていました。

いつも「退院したい」と私に訴えかけてきたので、ご両親に会える機会を作ってもらい、何回も退院させる様に、強く訴えかけました。しかし、その時にご両親が悲

しい顔をされたせいか、その方は「これ以上支援しなくていい」と言ってきました。そして、病院内で一生を終えました。

思い返すと、彼のご両親のことが大好きだったので、ご両親が退院させたくないのであれば、自分は退院しなくてもいい、と思っていたと感じます。この体験から、私は、支援者の意思を押し付けるのではなく、障害者の意向にそった支援をしなくてはならないと思いました。これが、一番思い出に残っている、エピソードです。

**Q. 理事長が変わり新体制になることで、利用者にはどのような変化、影響があるのでしょうか？**

**A.** 新しいことに、挑戦し続けて行きたいと思います。そして、今まで通り利用者の方が笑顔でいられる様にして行きたいと思います。もし、こうして欲しいということがありましたら、これまで同様、食堂でご飯を食べているので、教えてください。



11月22日(火)、東京Y M C A医療福祉専門学校にて、「ピアスの就労支援サービスについて」というテーマで講演を行ってきました。



Y M C Aでは、授業の一環で棕櫚亭のことを勉強されています。この講演の前にも、棕櫚亭Iでスポーツプログラムに、オープナーでは談話室への参加を通して、精神保健福祉サービスについて学習を深めていました。今回は、職員からの説明だけでなく、現在ピアスを利用されているメンバーさんのお話を通してピアスを伝えられるように、と準備を進めました。

当日訪問すると、学生さんが授業準備を積極的に行っていました。また、廊下ですれ違おうと気持ちの良い挨拶をかけて頂き、昼のお弁当の注文には「おいしかったです!」との言葉に、こちらも嬉しい思いになりながら講演が始まりました。短い時間でのピアスの説明は盛沢山で、消化不良だったかもしれませんが、メンバーさんの話には、学生さんの真剣なまなざしがまぶしく、あっという間に時間が過ぎていきました。その後の質疑応答では「支援者からされて良かったこと・嫌だったこと」「作業療法士へのメッセージ」等、対人援助職の本質をつく内容とメンバーさんからのリアルな返答に、こちらも考えさせられました。

今回の講演を通し、未来の医療福祉従事者の、地域での支援について考えるきっかけとなれたら幸いです。

(ピアス 長野 志保)

### 講演したメンバーさんの感想

今回の講演を通して、今までの歩みの振り返りにもなり、病気に対しての受け入れが出来るようになりました。準備中、ストレスに感じることもありましたが、担当者と事前に自分の「悪化サインと対処法」を考えていたので、それを試しながら役立つことも分かりました。講演をすることが出来て良かったです。



## ピアス 12月のイベント

12/15 (木)

オープナー主催『働く当事者からのメッセージ  
～カギは余暇と支援者の活用にあり！？～』

次号のピアス通信でレポートする予定です。ぜひお楽しみに！（ウェブサイトも要チェックです）

12/7 (水)

東京労働局の方が見学にいらっしゃいました。

11/24 (木) & 12/5 (月)

HW府中の雇用指導官の方に来て頂き、メンバー向けに**求人票の見方**のコツを教えてくださいました。また採用試験の**模擬面接**を行い、アドバイスを頂きました。

12/27 (火)

自立訓練事業（生活訓練）の女性の方を対象に、**職場のメイク講座**を行います。メイクの基本から、職場にふさわしいメイクや身だしなみについて勉強する予定です。



## 編集後記

- 本号では、新理事長インタビューを担当しました。いつも職員の方から、私の事について聞かれますが、職員の方に聞く機会が無かったので、どういう気持ちで私達に接してくれているか分かり、とても良かったと思います。（KS）
- 今回初めて企画に参加しましたが企画ってこういうふうにやっていくんだなと新鮮な気持ちで取り組んでいます。これから取材とかもして色々勉強していきたいです。（TK）
- 次号について企画で川柳を提案させていただきました、短冊を集めるのが大変と思いました。（HO）
- ピアス通信、着々と進化中です。来年も利用者さんのアイデア満載のプログラムとなるよう、頑張ります（中村）



法人ウェブサイトでは最新の情報をお届けしています。

⇒ [www.shuro.jp](http://www.shuro.jp) 『棕櫚亭』で検索！

【編集】 国立市富士見台1-17-4 ピアス内  
はれのちくもり編集委員会  
Tel 042-575-5911

【発行】 特定非営利活動法人  
障害者団体定期刊行物協会  
〒157-0072 世田谷区祖師谷3-1-17-102  
Tel 03-6277-9611

【定価】 100円